



福岡市育成会だより

第173号

発行所 社会福祉法人 福岡市手をつなぐ育成会
〒810-0062 福岡市中央区荒戸3丁目3-9 福岡市市民福祉プラザ4階
TEL. 092-713-1480

この会報は、
共同募金の配分を
受けて作成した
ものです。



ありがとうございました

令和3年度の振り返り

福岡市手をつなぐ育成会

理事長 花田敏秀

令和3年度は前年に引き続きコロナに翻弄され続けた一年となりました。それまで育成会の利用者や保護者、職員や関係者にはコロナに罹患したという報告はなかったのですが今回のオミクロン株の蔓延で職員や利用者にも感染する人が出て、事業所の休業を余儀なくされました。幸い現在の処、重症化は避けられていて、順次復帰をされています。今後コロナの状況がどう推移するのか予断を許しません。予防に努めるとともに行政と相談をしながら、今回の初めての経験と言っても良い事態に対応していくということを進めていきます。

各事業所や委員会の振り返りはそれぞれの担当責任者に譲りますが、令和3年度の事業の総括としてはコロナ禍の中にあつて職員・関係者の努力で最小限の被害にとどめたということに尽きると思います。さて少し具体的に振り返れば令和3年度の上半期に職員の皆さんと相談して、中長期事業計画「アクションプラン2030」を作成して関係者の皆さんに発表しました。このプランに沿って単年度の事業計画を進めていくこととなります。PDCAサイクルでプランを作成し、それを実行して、必要に応じて評価し、修正していくというサイクルを回す段階に入っています。

次に委員会活動ですが今年度新たに従来の事業継続計画(BCP)作成委員会を統合する形でリスクマネージメント委員会を立ち上げました。法人の事業を継続していくための備えは災害への対応に限らず様々なリスクが考えられます。考えられるリスクにできるだけ対応していくために、こういったリスクがありそれにどう対応していったら良いか施設長を始め職員の皆さんに考えていただきました。これからもリスク管理の観点からこの委員会活動を継続していきます。

第三に研修計画作成委員会をリニューアルして、法人職員全体の研修、法人で行う階層別研修、各事業所で行う業種別研修等の整理をして研修計画を作成していただきました。特に各事業所で、メンター制度を作っていたいただき新人の教育に取り組んでいただくことにしています。

第四に組織・人事・給与検討委員会、4年ぶりに給与規程の見直しを行いました。人口減少社会・我が国の人口構造全体の高齢化へのシフト等で労働環境が大きく様変わりしています。この激変化に対する対応が必要となっています。引き続き令和4年度には60歳以降のモチベーションが下がらないような働き方について、施設長の皆さんと検討していきたいと考えています。

第五はGHの在り方の検討です。早良区四箇に新たな建設用地を取得しましたので、このGHの利用者ニーズ、建て方、運営等を含めて、既存のものと一緒に運営するための在り方を検討するために早良ハウスの職員の皆さんで下半期より検討していただいています。

第六は六本松の移転です。家主からの依頼で、六本松から新たに桜坂に事業所を移転しました。コロナへの対応のためできるだけ密をさけることができるスペースの確保、また利用者ニーズもあり従来より定員を増やすということを念願していましたが、どちらもその目的を果たすことができました。

第七は里の移転計画です。令和3年度の予定であります建設用地の取得はできました。今後は建設の準備に入る段階ですが、建設資材の多くを輸入に頼っている我が国において、ウッドショックとロシアのウクライナ侵攻で先の見通しができにくい情勢になっています。このあたりの情勢を見極めながら、また専門家に相談しながら進めてまいりたいと思っています。

以上、はなはだ簡単ですが令和3年度の総括といたします。令和4年度も変わらず福岡市手をつなぐ育成会に対するご支援とご鞭撻をお願いします。



令和3年度 委員会の取り組みについて

令和3年度の 権利擁護・虐待防止委員会の 取り組みについて

石井 美紀

権利擁護・虐待防止委員会は、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」が平成24年に施行されたことを受けて、平成26年度から委員会として活動を行っています。

今年度も、各事業所より委員を選出し、研修や職員の自己点検チェックリスト、アンケートによる利用者満足度調査等をとおして、職員の意識改革、支援の質の向上、利用者の意思を尊重した専門性の向上、利用した取組みを行いました。また、身体拘束等の適正化のための指針の整備については、リスクマネジメント・防災対策委員会とも意見交換をしながら見直しを行いました。

今回は、研修と利用者満足度アンケートについて報告いたします。

研修では、昨年度から続くコロナの影響により、今年度も全職員が集まるための研修は難しいのではないかと話になり、リモートでの研修を検討することにしました。また、昨年度の反省から新任向けの研修をしてはどうかとの意

見から、今年度は新任研修を行ってから、全体研修を実施する流れにしました。研修の内容としては、昨年度は各事業所ごとではありましたが、ディスカッション形式での研修を実施しましたので、講話方式と職員の自己点検チェックリストの集計・分析報告としました。新任研修・全体研修共に講話後にアンケートを実施しましたので、次回の研修に活用し、今後よりよい研修が開催できるようにしていきます。

利用者満足度調査では、事業所利用の利用者満足度調査と入所施設・GHの利用者満足度調査をそれぞれ作成し質問内容や言葉の見直しを実施しました。

事業所の集計結果では、昨年度の全体の満足度が62%でしたが、今年度は65%と微量ではありますが上がっています。また、今年度は、回答欄の「あてはまらない」を「わからない」に変えたところ合計数が増えた結果になりました。利用者によりやすい文章や説明等改善が必要な部分が見えてきました。また、記述欄にはコロナ禍での要望やご意見等をいただきました。これらのデータを比較することで、改善が必要となる見直し、改善方法等を整理しながら、よりよい支援につながるように活用していきます。

昨年度と今年度の利用者満足度アンケートを載せていますのでご覧ください。

令和2年度 利用者満足度アンケート

項目	○	△	×	不明	無回答
1	78	17	2	0	3
2	73	22	5	0	3
3	72	26	2	0	3
4	82	14	4	0	4
5	64	28	5	1	3
6	58	28	2	4	3
7	58	28	5	4	3
8	80	14	0	2	4
9	59	27	3	3	3
10	84	22	3	3	3
11	74	13	3	4	4
12	62	28	3	3	3
13	80	22	3	2	3
14	79	17	2	2	3
15	88	18	2	3	3
16	46	25	9	4	4
17	82	24	3	1	3
18	78	21	1	1	3
19	57	27	6	1	3
20	68	22	1	5	3
21	72	20	3	1	3
22	72	26	2	1	3
23	62	17	1	22	3
24	44	21	4	11	3
25	58	26	4	4	3
合計	1566	542	75	143	209



令和3年度 利用者満足度アンケート 集計結果

項目	○	△	×	不明	無回答
1	83	21	0	0	1
2	78	22	0	0	1
3	85	12	1	0	1
4	84	23	4	0	2
5	72	23	4	0	2
6	81	19	3	0	2
7	59	30	6	0	2
8	76	22	2	0	4
9	81	19	1	0	2
10	89	20	1	0	2
11	79	23	1	0	2
12	81	15	2	0	3
13	77	22	3	0	4
14	69	29	2	0	3
15	81	25	3	0	4
16	78	18	4	3	4
17	68	22	3	10	3
18	74	28	12	0	2
19	78	18	4	0	2
20	74	28	11	1	4
21	66	21	2	21	4
22	61	23	4	9	4
23	74	28	4	3	2
24	24	21	2	30	11
25	45	26	3	19	6
合計	600	73	220	136	



令和3年度 高齢利用者支援委員会の 取り組みについて

石井 美紀

高齢利用者支援委員会は、福岡市手をつなぐ育成会の施設、事業所の中で生活介護事業のある、福岡ひまわりの里・ひまわり園・ひまわりパーク六本松・ひまわりパーク上牟田・早良ひまわりハウスから職員代表のメンバーで構成され、平成28年度から活動を行っています。

今年度は、各施設・事業所での事例検討を中心に情報交換・情報共有の実施、専門機関出版の情報誌等による勉強会、研修を行いました。また、今年度もコロナの影響により、リモート会議で7回実施しました。

事例検討では、高齢利用者の活動状況の変化や生活場面での変化があり、各施設・事業所で情報共有を行いました。嚥下・咀嚼機能の低下による誤嚥性肺炎の防止の取り組みや、認知機能・意欲低下等の精神面での支援内容、視力低下や歩行等の身体面での支援内容や職員間の情報共有の仕方等、実際に行っている支援方法や今後取り組んでいく内容、また実際に支援方法等で意見を出し合い、それぞれの事業所で参考になる具体的内容

についても意見交換を行いました。勉強会・研修では事例検討でもあった、

嚥下・咀嚼機能の改善につながる口腔ケア体
操について資料を確認しながら、実際に各事
業所で行っている口腔ケア体操について意見
交換を行いました。声掛けや職員と一緒に
行うことで体操ができる利用者から職員が介
助をしながら行う口腔ケアの方法等情報の共有
ができました。また、高齢利用者の視力低下
への支援に着目し、専門機関出版の情報誌を
参考に、老化とともに視力低下ともなう疾
病リスクや、疾病ではない視力の低下「老眼」
が進行した際、いち早く様子の変化に気づく
ことが必要であることを再認識しました。「よ
くつまづくようになった」「人や壁にぶつかる
ようになった」「段差がないところで、足を高
く上げる動作が見られた」等注意深く観察を
行い視力低下のサインに気づき、サインの意
味を読み解く力の必要性を学びました。

高齢利用者の支援には、精神面と身体面
の変化への早期発見・適切な支援が重要に
なつてきます。施設整備等だけでなく専門
的な支援技術を習得し、利用者にとってど
のような支援がより効果的か、今後もあり
よい支援に向けて取組んでいきます。

令和3年度
共同事業実践発表会
委員会について(報告)

平成28年度から開催しておりました実
水城 淳一郎

実践発表会は、残念ながら昨年度に続き、コ
ロナ禍のため開催できませんでした。

令和3年度は、毎月委員会を開催し、
福岡市市民福祉プラザでの会場開催とリ
モートでの開催の併催ができるよう準備
を重ねてきましたが、まん延防止等重点
措置の時期と重なり、中止の判断にせざる
を得ませんでした。次期に開催できる
ことを期待しています。

今年度は、各施設、事業所から計7件の
事例があげられましたので、今後、発表者
による動画配信などができるよう、委員会
で検討していきたいと思っています。

令和3年度 実践発表会 発表事例

- ・ 早良2基幹相談支援センター
「利用者の分析から見る終了ケースと
継続ケースの特徴について」
- ・ ひまわり園
「個別プログラムの実践」
- ・ ライフサポートををつなぐ
「継続的な支援の有用性」
- ・ ひまわりパーク上牟田
「就労継続支援A型 高齢利用者への
取り組みについて」
- ・ ひまわりパーク六本松
「在宅ワーク支援について」
- ・ 福岡ひまわりの里
「利用者支援について」
- ・ 早良ひまわりハウス
「暮らし、支える〜障がい特性の理解と

ストレンクス視点に基づいた支援、意
思決定支援の重要性」

令和3年度
研修プログラム策定
委員会について(報告)

水城 淳一郎

研修プログラム策定委員会は、法人、施
設・事業所の人材育成を目的に、各施設
事業所から委員を選出し、隔月で実施し
てきました。

職員の研修に対するニーズも多くあ
り、階層別研修、専門研修、事業所別研修、
資格取得などに取り入れながら整理し、
人材育成に効果的な研修が実施できるよ
う、プログラムを検討しています。

特に新任職員に対してのOJT、メン
ター制度について、各事業所の特性に合わ
せた取り組みを重点的に検討し、今後は
効果的な研修となることを期待されます。

また、今年度の報酬改定で示された感
染症や災害への対応強化として、継続的
な委員会、研修が必須となりました。研
修プログラム策定委員会でも、防災(BC
P)、虐待防止などの各種委員会と連携し
ながら、研修の企画、運営にも関わって
きたいと思っています。

職員の研修報告の在り方や発信力の強
化なども課題です。実践発表会や研修会

などで発表、講演できる力がつくよう、検
討していきたいと思えます。

今後も、事業所別研修と法人研修、外部
研修への参加などを整理し、各委員会等と
の連携を図りながら、充実した研修をと
おして人材育成につなげたいと思います。

○参加研修(抜粋)

- ・ 法人(階層別・虐待防止・メンタル
ヘルス・実践発表会・各委員会など)
- ・ 育成会(大会・事業所協議会など)
- ・ 県、市社会福祉協議会(新任・中堅・
記録技術・感染防止・リスクマネジ
メントなど)
- ・ 知的障がい者福祉協会(研究大会など)
- ・ 社会就労センター(研究大会など)
- ・ 市民間障がい施設協議会(部会研修
会など)

- ・ 市社会福祉事業団(就労支援セン
ター、ゆうゆうセンター、強度行動障
がいなど)
- ・ 区基幹相談支援センター(区部会ネッ
トワークなど)
- ・ 国立のぞみの園(高齢利用者支援など)

○資格取得など

- ・ サービス管理責任者
- ・ 相談支援従事者
- ・ 強度行動障害支援者養成
- ・ 就労支援関係研修ほか

**令和3年度
作業開拓・工賃向上検討委員会の
活動について(報告)**

今林 映一

当委員会は就労継続支援B型支援事業所の工賃向上を図る目的で設置したものです。本年度は検討委員会を3回行いました。

1 令和3年度の現状と課題

令和3年度もコロナ禍の影響があり令和2年度に続いてバザーや販売会の中止、受注作業の減少など各事業所の生産活動にとつて厳しい状況が続いています。

**2 令和3年度の新規及び拡充した
各事業所の取り組みについて**

ひまわり園

今年度も地域の販売会等がコロナ禍の影響で実施されず、例年に比べるとまだまだ売り上げが伸び悩んでいる現状です。令和2年度に比べ今年度は学校関係のパンやクッキーなどの販売が定着してきたこと、毎月1回の大口の事業所が取引先(販売・受注納品)に加わったことで、少しずつ売り上げが伸びてきています。

また、在庫管理を含め材料費を見直し、支出を抑えたことや園行事であるお祭りの代替プログラムで、顧客のニーズに合わせた商品開発や注文による製造を行ったことも良い結果につながっていると考えられます。

ひまわりパーク上牟田

新規の受注作業を提供できるように取り組んできたところ、今年度10月から新規で2か所の受託業者から作業を請負い、うち1か所の食品関係の受託作業は今後も継続的に請け負えるようになりました。また、以前受託していたナフキン清掃作業が昨年の緊急事態宣言解除後に再開し、12月から再スタートしました。売上に関しては依然として繁忙期には及ばないため新規開拓にも心掛け取り組んでいます。

ひまわりパーク六本松

当事業所の就労収入は毎年アートグッズの売り上げが7割以上であり、売り上げ増に向けて昨年も新商品を制作し、カタログ販売を展開しました。カレンダーの販売拡充及び植物園での主催事業の販売会等に対応してスマートフォンで支払う決済を導入し、アートグッズを購入しやすい環境をつくりました。今後も出品

する機会があれば積極的に出品し、工賃向上につなげていきます。

4 令和3年度の平均工賃の見込み

事業所名	3年度工賃 (見込)	2年度工賃 (実績)
ひまわり園	14,000円 程度	8,101円
ひまわりパーク 上牟田	8,000円 程度	10,190円
ひまわりパーク 六本松	17,500円 程度	13,256円

5 今後の取り組み

(新規事業や検討事項など)

令和3年度もコロナ禍が続いており厳しい状況が続いています。当委員会では適宜、情報交換を行い、受託作業の拡充、新規の作業開拓、工賃向上につながるよう連携します。各事業所では新年度に向けて次の取り組みを検討しています。

ひまわり園

例年の販売会等が見込めないことから、売り上げを維持するためにも顧客に喜んで

頂けるような商品開発を継続していくとともに、包材料費等を抑えるなど経費の削減などに取り組んでいきます。またスマートフォンで支払う決済をカフェに導入し、今後販売会へも導入予定です。

ひまわりパーク上牟田

これからも引き続き、受託作業を中心に取り組んでいきます。前提として工賃向上に向けた取り組みが必要ではありますが、利用者の方々の作業能力に応じた作業提供をひとつでも多くできるように検討し、新しい受託業者を開拓、工賃向上につながるよう着実に取り組んでいきます。

ひまわりパーク六本松

昨年11月末に中央区桜坂に事業所を移転し定員は40人に増え、高い工賃や十分な生産活動を求められています。今後も出品回数はコロナ禍前より少ないことが予想されますが、販売会への積極的な申し込みとともにアートグッズのネット販売等の展開なども進めます。また、事業所内での封入・封かん作業は新しい作業の受託を目指します。

消費生活かわら版 98

令和4年3月作成

サポート詐欺に要注意！

～その警告画面・警告音は偽物です～

パソコンやスマートフォンでインターネットを使用中に突然、偽の警告画面や警告音が出て、それらをきっかけに電話をかけさせ、有償サポートやセキュリティソフト等の契約を迫る「サポート詐欺」に関する高齢者からの相談が増えています。

■ 事例

パソコンでインターネットを閲覧中、突然操作ができなくなり、警告音が鳴って警告画面が表示された。表示されていたサポート窓口に電話すると、大手パソコン OS 会社を名乗る女性が出て、「ウイルスに感染しているのでサポートする」と遠隔操作を始めた。その後「定期的なサポートを契約した方がいい。電話を切らずに、コンビニで5万円分のプリペイド型電子マネーを購入して番号を伝えるように」と言われた。指示通りに購入して番号を伝えたが、「処理に失敗した。後で返金するので、再度5万円分のプリペイド型電子マネーを購入してくるように」と言われた。仕方なく再度購入して番号を伝えたが、また失敗したと言われた。その後も同じやり取りを繰り返し、合計20万円分のプリペイド型電子マネーの番号を電話の相手に伝えてしまった。

後日、不安になって大手パソコン OS 会社に確認したところ、詐欺だったことがわかった。



⚠ 警告画面や警告音が出ても慌てないで！

実在する会社名などが表示されていても、端末の状態を正確に伝えているとは限りません。警告画面や警告音をうのみにしないでください。

【対処法】

✓ 無視する

偽の警告画面・警告音が出た場合には、音量を「0」（無音）にして警告音を消し、インターネットブラウザ等を終了させて警告画面を消しましょう。

✓ 絶対に連絡しない

電話の相手からさらに不安をあおられ、高額な契約を勧められてしまいます。

✓ プリペイド型電子マネーの番号を教えない

番号を一度相手に伝えてしまうと、お金を取り戻すことは非常に困難です。

✓ 不安を感じたらすぐ相談

契約や解約等に関することは、お住まいの地域の消費生活センターに、警告画面の消去法等に関しては、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）（右記参照）に相談しましょう。

独立行政法人情報処理推進機構（IPA） 情報セキュリティ安心相談窓口

電話：03-5978-7509

受付時間：10:00～12:00、13:30～17:00
（土日祝日・年末年始は除く）

メールアドレス：anshin@ipa.go.jp

※困った時は、ひとりで悩まず、まず相談！

福岡市消費生活センター相談コーナー（相談無料・秘密厳守）

相談専用電話 092-781-0999

☆検索サイトで「福岡市消費生活かわら版」を検索すれば、バックナンバーが印刷できます。

コピーして、回覧・配付などにお使いください。

保護者会

福岡市手をつなぐ育成会保護者会

会長 下山 いわ子

新年度になりました。役員決め、みなさんのグループや団体はどのような状況ですか。

「決まらない」あるいは「立候補者が多くて大変」「スムーズに決まった」など、いかがですか。

当会は、知的障がいのある本人とその家族で構成しています。福岡市と近隣の地域の方で、障がいのある本人の年齢が、未就学児〜80歳前の方までいる幅広い年齢層という特徴があります。

保護者の高齢化やひとり親の家庭、両親ともに亡くなつてきょうだいや親せきが養護者となつている家庭が多くなりました。また、幼児・学齢期の子もいる家庭は、保護者が働いていることが多いです。よつて、私たちの団体では、「役員のなり手がなくて」という課題を抱えています。

どんな保護者会が求められているのか、はたまたま不要なのか、一度、一緒に考えてもらえたらと思います。

【役員経験者に聞いてみました】

「役員任期1期のみ参加」と「役員任期複数期参加」と分けて質問し、以下のような興味深い結果を得ることができました。

【①経験した感想】

〈役員任期の1期のみ参加〉

- ・コロナ禍で通常の活動以外に考えなければならぬことが沢山あり、会議も一堂に会せず、役員同士の意思疎通や意見交換に困難さを感じる場面もあった。
- ・ほとんど活動していない。
- ・障がいのある本人(以下本人と略)の環境改善の取り組みや行政への働きかけ、全国の育成会との連携など、一般会員の総意を汲んで取り組んでいることを知ることができた。
- ・最初はイベントが多く、分からないまま走り続

けたという印象。少しずつ全体が見えるようになって、できることを全員で考えて形にしていったことはとても思い出深く、絆を感じながら参加者や講師の先生と共に時間を過ごすことができた。少しずつ先輩方とも話が弾むようになり、会の歴史や全体的な活動にも意識が向くようになった。役員という責任ある立場に選んでもらいたい大変ありがたかった。

【②役員になって良かったこと】

〈役員任期の1期のみ参加〉

- ・自分とは異なる立場の方や様々な意見をもつ方と知り合い、話を聞いたり、意見を交わす機会が、貴重な経験。
- ・オンライン会議は、役員でなければ体験しなかった。身近な事しか知らなかったが、役員になって全体の活動がよく分かり、勉強になった。
- 〈役員任期を複数期参加〉
- ・世代の違う家族や講師との出会いで視野が広がりました。役員でなければ知り合ふことはなかった。役員でなければ知り合ふことはなかった。役員でなければ知り合ふことはなかった。役員でなければ知り合ふことはなかった。

息子にも楽しい経験をさせてもらえた。

- ・一般会員より情報をいち早く、詳しく知り得、手伝いだけでなく、情報に触れ学べた。
- ・アンケートの集計に携わること、みなさんの日常や思いを肌で感じることができ、育成会保護者会がどういふ活動をしていくべきか、未熟ながらも意識することができた。
- ・役員全体で連帯感が生まれ、意識が通った。
- ・自分がやりたいと思う催しを企画できた。

自分なりに活動に参加できなかったことが悔やまれる。特になし。交通の便が悪かったことと子どもの在宅ワークの時は家に居なくてはならず、迷惑をかけたことが苦しい。

【③経験して大変だったこと】

〈役員任期の1期のみ参加〉

- ・拠点のふくふくプラザが遠い。行きは毎回都市高速道路を利用し、気軽に立ち寄ることができない。
- ・休日の手伝いができない。仕事があるので役員としての働きができていない。
- ・会と家族を含む個人的なスケジュールや提出物と折り合いをつけるのが大変だった。
- ・開催行事の下準備が会長を先頭に大変な事を実感。
- ・自分の思いが人にうまく伝わらず誤解される事もあり、難しさを感じた時があった。

〈役員任期を複数期参加〉

- ・学びや視野が広がるのがたくさんあると思うから必要だと思ふ。必要！絶対必要
- ・必要だと思ふ、またはわからない理由を教えてください。

【④今後役員になりたい、求められればなつても良いですか】

〈役員任期の1期のみ参加〉

- ・家庭や仕事の状況が許せばなりたいたい。できない。もう少し若く、もう少し健康であれば
- 〈役員任期を複数期参加〉
- ・現在と同様の仕事量、責任であれば続けていけると思うが、これ以上は難しい。75歳という年齢では無理かな。前向きに考えたい。協力したい

【⑤役員になりたくない、なれない理由】

〈役員任期の1期のみ参加〉

- ・体調不良や年齢、家族、子どもたちの事情。本人のきょうだいが親代わりに役員になることは自分の生活、仕事があり無理
- 〈役員任期を複数期参加〉
- ・高齢となり、記憶力・思考力の低下で意欲が欠乏し、会議、協議などに差し障るため。

【⑥役員になりたい、求められればなつても良い理由】

〈役員任期の1期のみ参加〉

- ・自分が一番不安を抱えていた時に育成会保護者会に支えてもらったので、恩返ししたい。同じように不安を抱えている保護者の方に少しでも力になりたい。
- 〈役員任期を複数期参加〉
- ・少しでも役にたちたい。障がい福祉の向上につながると思うので。
- ・私自身が育成会保護者会に出会えたことで、これほど救われたかと感謝の気持ちが大変大きい。恩返しできればとの思いから。

【⑦保護者会について必要と思ひますか?】

〈役員任期の1期のみ参加〉

- ・本人の将来、漠然とした不安は、一人で悩んでいても解決しない。市、県、国レベルで解決方法を模索しなければならぬ事もある。運動体として、個人よりも団体、そして全国組織である

ができないのに矛盾しているが必要だと思ふ。わからない

〈役員任期を複数期参加〉

- ・必要！絶対必要
- ・必要だと思ふ、またはわからない理由を教えてください。

〈役員任期の1期のみ参加〉

- ・保護者が子どもの発達に悩みを抱えながら、適切な相談場所やコミュニティにたどり着けず、孤独や不安を感じていたから。
- ・育成会保護者会が塊として、知的障がい者の親の意見を表明し、公に対する。意味では、必要だと思ふ。ただ、活動出席が役員のなり手のプレッシャーになっているのも確か。ほとんどが高齢者が働いて親。「昔のような若い元氣な専業主婦の集まり」でなくなったのが現実。
- ・悩みや問題がある時、最初に相談できる育成会保護者会が必要だから。
- ・お世話になつてお返しをしたいので必要と思ふが、私が役員を引受けるのは難しいので「わからない」を選んだ。
- 〈役員任期を複数期参加〉
- ・個人では知りえない事について研修会を開けた。保護者の連携のため。
- ・保護者は、切れ目のない支援の情報が必要とされている。病気が加齢など人生のステージが変わつていけば、新たな不安や悩みも増えていく。そういう時に、寄り添い、一緒に考え、正しい情報を伝え、場合によっては社会に問うという育成会保護者会の存在は、唯一無二だと思ふから。
- ・保護者の心の拠り所、所属していると安心。
- ・期間を区切った関係性ではなく、幼児期〜老年期までライフステージを通して本人と親をセットでかわりを持つてもらえる育成会保護者会が必要。
- ・縦・横のつながりのある育成会保護者会は情報交換の場所としても必要。
- ・本人の将来、漠然とした不安は、一人で悩んでいても解決しない。市、県、国レベルで解決方法を模索しなければならぬ事もある。運動体として、個人よりも団体、そして全国組織である

ことは、運動の広がりや情報量、発信力が大きい。育成会保護者会は、運動全体の方向性を示し、共通の課題として行動するためにも必要。困っていることをどうにかしようと「一緒に考えよう」ところだから。

その他、保護者会が「必要ないと思う理由」については、回答はありませんでした。

【結果から】

若い役員が「思返しがしたい。今度は自分が力になりたい」という思いや「高齢だが福祉向上のために協力する」という回答に感激しました。当会が必要とされている点も改めて感じることもでき、「大変だったこと」からは早急に取り組む事項もわかりました。

興味深い結果は、「⑦保護者会が必要か？」という質問で、1期だけの役員と複数期経験役員と大きく分かれたところです。そして、必要と思う理由は、それぞれあったことも面白い結果です。

1期だけの役員は、「必要と思うけれど…」が多かったですが、複数期経験役員は、だれもが「必要」とはつきり答えています。

この違いは、今後の保護者会にヒントになると思いました。

この2年間ではじめて役員になった1期だけの方たちは、ほとんど活動ができませんでした。役員会や活動の隙間に役員同士で何気ない日



【九州地区手をつなぐ育成会 連絡協議会】



【役員会】

全国や九州地区の仲間とオンライン会議で情報交換★

オンラインと広い会場とのハイブリットで開催★

常の出来事を話したり、催しの準備を一緒にしながら催しに対する期待感を共有し、結果を喜び合ったり、残念がったりの経験のないままでした。この隙間が大事だったんだと痛感しています。

例えば「〇さんに連絡しても返事がないのよ。大丈夫かな？」とか「〇さんのお子さん、ちょっと見ない間に大人っぽくなったねえ」「〇病院、すごく良かったよ」「〇、申請した？」「事業所(学校、家庭)でこんなことがあったのよ」「参加者、楽しんで良かったねえ」等々の話です。

子どもが学齢期の保護者の「療育手帳A1なんだけど、通常クラスで過ごさせたい。小さいころから一緒に育ちあつて共生社会に向かうことが大事」という話から始まり、「特別支援学級を希望」「特別支援学級から支援学校へ移った」等様々な意見や体験の話が続きました。その時、大先輩が「共生社会もとても大事だけど、その子の学ぶ権利をどう思う？」と発言され、さらに話が深まりました。

このように様々な生の意見や情報を得ることができていました。(※育成会保護者会は、こうすべき、と会が決めるのではなく、気兼ねなく話ができ、いろいろな話を聴ける場を提供して、当人が決めたことを応援します。そして困ったことは一緒に考えて解決策を見つめます。良い情報を広めます。)

また、保護者会がない事業所に通っている方から不安や不満の話がありました。



【本人部会】

「麻がいのある本人たちの活動」全国の仲間とオンラインで交流♡



【MLAP】

4年間の文部科学省の実践研究は、楽しくて、たくさんの方たちにつながりました♡



【音楽あそび】

制限されたプログラムでしたが、参加者の笑顔がうれしかった♡



【手をつなぐ応援隊】

小学校での講座、小学生の柔軟さとおすすくなまなざしに元気をもらっています♡

「連絡帳の内容は、みんながこんなものか知りたい。うちの子ばかり注意されているように感じる。」ので、他の人のことを知りたいけど事業所からは個人情報だから教えられない、と言われて確認の仕様がなくて困っている。保護者会があったら、他の保護者に話が聞けるのに。保護者会として事業所に要望を伝えてほしい。個人では言いにくい。「こんな些細なことを」ということも躊躇せずに相談できる保護者会がほしい。保護者会は、何気ないけれど、つながっている安心感があるんですね。

【良さは必要を感じているんだけど…】

今は検索すれば情報を入手することができ、コロナ禍のような時は特に役にたっています。但し、自分一人で集めている情報が偏っていないかを意識しておく必要があります。自分とは違う視点を感じた経験がないと意識の仕様がいかにもありません。保護者会の良さを感ぜた経験がないと「すべきこと」ばかりで「保護者会は必要と思うけれど、役員になるのは…」ということもわかります。

「研修会には参加はしたい。でも準備や当日の役割は…」という話もありました。催しを実施するには、準備や当日の役割を果たしてくれる人がいるので開催できるのです。「わかっているけれど、高齢で、病気で、介護で、働いていて…」という話にもどります。「運動が必要」は共通の思いです。できることで協

力し合う」と呼びかけていますが、もしかしたら「できることで協力する」ことが、少数の偏った人ばかりが役割を担うことになりかねないのかもしれない。では、どうしたら良いのか。「うーん」と考え込みます。

【これからの保護者会】

昔と今は違いますが、先輩保護者の運動や活動の中に、今でも必要な知恵や工夫があり、社会を変える力があります。先輩方の功績を踏まえて、今の状況にあった保護者会であるためには、従来通りの活動の継承が必要かどうかの検討や継承の仕方を新しい発想で考え直してみることが必要になりました。保護者会がなくなったら、を考えてみることもひとつの方法かもしれません。

「ひとりの力で動かないこともみんなで動かせば動く」「一人の1歩を100人の1歩に」という先輩方の原動力は今も同じです。「必要と思うが、協力は難しい」という隔たりをどう埋めたらよいのか。私はシンプルに考えます。楽しかったら、自然とみんなが参加したくなるのでは。役員も楽しくなければ続かない。「楽しい」という中には、「準備は大変だったけど、やって良かった。うれしかった」もありません。

当会は発足後47年になり、参加したい保護者会がどのようなものか、「この活動必要？やりたい？楽しい？どうしたらできるのかな」を考える時がきています。様々な事情を抱えたみんな、どんな保護者会にしていくか楽しみます。



「ホームページやフェイスブック」情報発信中☆



<https://fiku.jp/hogoshakai/>

寄付・寄贈

(令和4年2月〜令和4年3月)

■ひまわりパーク六本松

特定医療法人財団 博愛会 様

■早良ひまわりハウス

上村 真澄 様

ありがとうございました。
大切に使用させていただきます。

特定医療法人財団 博愛会様より、今年も多額のご寄付の贈呈がありました。

博愛会病院では、社員食堂に設置してある募金箱に、職員の皆さまが一食ごとに募金をなされ、その浄財を寄付していただきました。

職員の皆さまのご厚志に御礼申し上げます。利用者支援に大切に使用させていただきます。



全国手をつなぐ育成会連合会発行 情報・交流誌「手をつなぐ」購読のご案内

機関紙「手をつなぐ」購読ご希望の皆さまは本会事務局までご連絡ください。

○年間購読料

一口 3,900円(送料別)

※送料は受け取り先や口数によって異なりますので、事務局までお問い合わせください。



知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

みんなの **あんしん保険**

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

みんなの **こども傷害保険**

- ・入院・通院を日額保額
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

このようなお困り事に心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

ぜんち共済株式会社
関東財務局長(少額短期保険)第14号
 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
 [2020年1月作成 19-TC06633]

0120-322-150
平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く
 URL: <http://www.z-kyosai.com/>

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

株式会社グッド・サポート TEL:092-263-6771 FAX:092-263-6772